

### 卒業記念動画を作成する

クラスメートを視聴者として設定し、班で卒業を記念する動画を作成させた。現在、各校に配布されているSurface Go 2を使用させ、Windows標準アプリ「ビデオエディター」を用いて動画を作成させた。

どのような動画を作成すれば視聴者が卒業を感じられるか、ということを考えさせた。4人ほどの班で活動し、撮影から編集を行わせた。

<第3学年・動画作成>

#### ICT活用のポイント

台数を限ってパソコンを使用させると、班内で役割分担をしていた。

最低限の使い方は教員が説明した。普段からパソコンを使っている生徒に任せる場面をつくった。



グループ活動による動画制作

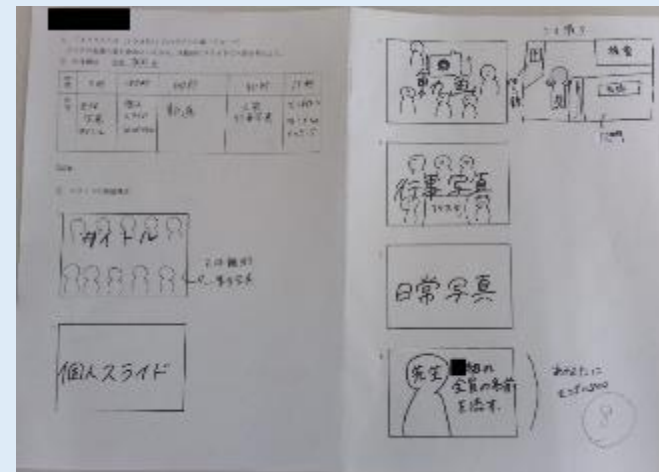
### 班で動画構想を発表する

卒業記念動画を作成する中で、動画の構想を発表させた。まず教師が準備した用紙に、班で構想した動画案を記入させた。次に、その用紙を写真で撮影し、黒板にプロジェクターで投影した。そして、教師が準備したワークシートに発表内容を記入し、班ごとに画像を全体に見せながら発表させた。最後に、個人が作りたかった動画構想に理由とともに投票させ、結果を教師が発表した。

<第3学年・動画作成>

#### ICT活用のポイント

資料を提示するために、プロジェクターで画像を投影した。画像の拡大・縮小は教師が行った。また、各班にパソコンを使用させ、資料の画像を手元のパソコンでも見えるように準備した。



班で作成した動画構想用紙

## 協働的に問いを探求し、教室全体で考えの共有を図る

### 《ICT活用場面と活動内容》

- ① WEBアプリ「Mentimeter」や「Quizizz」を各自起動。
- ② 生徒は自宅学習や協働学習で得た考えや答えをアプリに入力。
- ③ 生徒は各自の端末で級友や別班の解答を自由に閲覧できる。
- ④ 最も納得した解答や共感した考えに投票することもできる。
- ⑤ 教師は教室のスクリーン上に生徒の意見や考えを映し出すことで、全体を注目させることもできる。
- ⑥ 共有して得た考えを元に、さらに班やクラスで議論を重ね、全体の納得解を探っていく。

### 《主な利点》

- ① 個人や班の考えを瞬時にクラス全体に共有できるので、時間の短縮を図ることができる。
- ② 投票機能を利用することで、投票、クイズにも応用できる。
- ③ 教師は意見の保存ができるので、次回の授業への応用や指導の手がかりを得ることができる。

導入問題や、問いをクラス全体で考える際に配布や共有の準備時間を大幅に短縮することで、他の活動を充実させることが可能。



黒板投影と個人端末を併用した教室風景

### ICT活用のポイント

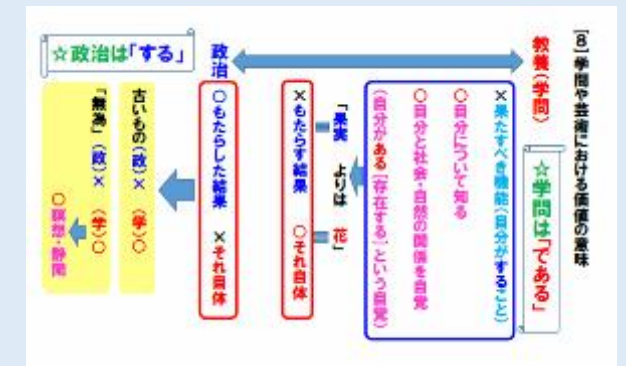
事前に教員が質問やスライドを設定しておく必要があるため、使い方に慣れておきましょう。スクリーンやモニターに投影させることでクラス全体を注目させることができます。活動を個人や班、全体と明確にして使い分けるとメリハリが出ます。

### ノートに書いた文章構成図をタブレットで撮影し、班やクラスで発表する授業

- ①生徒が文章構成図を書く 【主体的な学び】
- ②班、クラスでプレゼンテーション 【対話的な学び】  
※生徒のノートをタブレットで撮影、スクリーンに投影
- ③教師の本文説明
- ④以前の教材との共通点を考える。 【深い学び】  
身の回りで当てはまる事象を探す。 【深い学び】
- ⑤ルーブリックで自己評価を行う。 【主体的な学び】



教師の本文説明

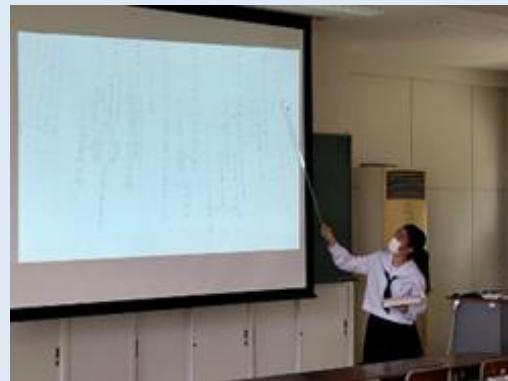


教師の板書スライド

<第3学年 現代文B>



班でプレゼンテーション



クラスでプレゼンテーション

### ICT活用のポイント

- ア 生徒の構成図を投影することでクラス全員での共有が即座にできた。また、スクリーンをつかったプレゼンテーションの経験を積むことができた。
- イ 教師の板書をスクリーンに投影することで、従来チョークで書いていた時間を削減できた。また、スクリーンには多くの文字数を表示できないがゆえに、内容を精選した板書を作成できた。